

特別頒布対象図録

令和6年7月1日現在

図 録	発行年月日	定価	特別頒布価格
香淳皇后の御絵と画伯たち	19. 3. 27	1,500	750
香淳皇后(昭和天皇の皇后)は、高取稚成、川合玉堂、前田青邨に日本画の指導を受けられ、多くの絵画作品を遺されました。この図録は、香淳皇后の御絵とともに三人の師の作品、ご親交のあった山口蓬春、奥村土牛両画伯の作品を、ご紹介しています。			
近代の洋画家、創作の眼差し	22. 10. 30	1,600	800
明治期から昭和初期にかけてわが国に根付いた洋画を、描かれた主題に注目し、国内及び海外の風景を描いた作品、同時代の世相を写し取った作品、我が国の歴史を題材にした作品に分けて、ご紹介しています。			
若梅に撫子－旧高松宮家と伝来の品々	25. 3. 26	1,700	850
三の丸尚蔵館が旧高松宮家から御遺贈を受けた両殿下にゆかりの深い品々の他、大正天皇、貞明皇后の御遺品や旧有栖川宮家から引き継がれた優品の数々を通して、両殿下と美術の深いつながりについてご紹介しています。			
美を伝えゆく－名品に見る20年の歩み	25. 10. 12	1,300	650
三の丸尚蔵館は、昭和天皇並びに香淳皇后、さらに旧秩父宮家及び旧高松宮家から寄贈された美術工芸品を調査研究し、保存しています。これまでに修理した名品の公開を通して、修理事業の意義及び技術をご紹介しています。			
1920s～30s モダンエイジー光と影の造形美	27. 9. 12	1,700	850
各国に大きな傷跡を残した第一次世界大戦のあと、1920年代から30年代に光彩を放つ新しい芸術文化が開花しました。昭和天皇が大正10年にヨーロッパを歴訪され持ち帰られた品々を始め、日本の大正ロマン、昭和モダンとも呼ばれる同時代の作品をご紹介しています。			
北欧の工芸－自然が生み出す	28. 1. 9	1,500	750
明治から昭和の時代に世界各国から皇室へ贈られた数多くの美術工芸品の中で、近年、北欧デザインと呼ばれて多くの人々に親しまれるようになった北欧の国々の工芸品に焦点を当て、その魅力と特徴をご紹介しています。			
書の美、文字の巧み	28. 9. 17	2,000	1,000
中国の書聖・王羲之(おうぎし)の書に始まり、近代に至るまでの作品を通して、わが国の豊かな書、優れた文字の文化をご紹介しています。			
寿ぎの品々を読み解く	29. 1. 7	1,600	800
明治期以降、皇室の御慶事に際し、各方面からお祝いの品として、美術品の数々が献上されました。これらの品々に示された吉祥の主題が、新しい時代の感覚によってどのように表現されたのか、その造型美に注目しご紹介しています。			
名所絵から風景画へ－情景との対話	29. 3. 25	2,000	1,000
四季山水に恵まれたわが国では、名所を題材にした名所絵や歌絵が人々に親しまれ、様々な変遷を遂げて、現在の風景画へと発展しました。自然観の形成と深く関わる名所絵から風景画まで、近世から近代にかけて描かれた作品をご紹介しています。			

* 送料等については、頒布品のご紹介:図録のサイトをご確認下さい。